

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28～30年度:計画作成主体:藤枝市地域農業再生協議会)(静岡県)

取組の概要

- 対象品目 : ミノトマト(作付面積:0.648ha)
(都市近郊地域)
- 主な取組主体 : 株式会社 サンファーマーズ
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
基準(H27年度) 0 円
目標(H30年度) 75,751千円
- 導入施設等 : 整備事業(生産技術高度化施設)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

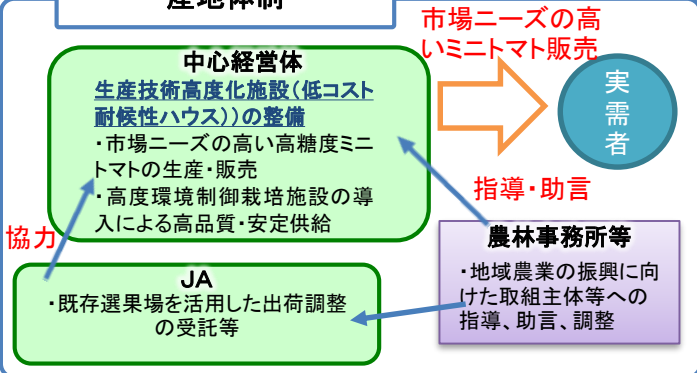
取組主体のオリジナル商品である高糖度ミノトマトは独自の栽培技術により生産されており、市場ニーズが高く、地域においては高単価で取引されていた。市場ニーズに対応した同商品の増産には、高い水準での栽培管理等が求められることから、生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス)等の導入により、高品質かつ安定的な生産体制の確立、収益性の高い産地形成を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

①高品質かつ安定的な生産体制の確立及び収益性の高い産地形成の実現に向けた低コスト耐候性ハウス及び複合環境制御装置の導入

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・中心的な経営体への農地を集積による農地利用の効率化と高度化
- ・隣接地に平成26年度強い農業づくり交付金等事業により、トマト・ミノトマトの集出荷場を整備

取組成果

【事業実施による直接効果】

①低コスト耐候性ハウス及び複合環境制御装置の導入による市場ニーズの高い高糖度ミノトマトの販売額増

【事業実施による間接効果】

①中心経営体への農地を集積による農用地利用の効率化及び高度化の促進



販売額が76,244千円増加
(目標75,751千円)
(達成率115%)

